

作物名	全般		県名	愛媛県	所属	愛媛県病害虫防除所
調査・研究課題名			担当者	青野光男、奈尾雅浩、毛利幸喜		
予察灯におけるバポナ殺虫プレートの設置可能期間について						

1. 目的

バポナ殺虫プレートを予察灯で使用した場合の本製品の設置可能期間を明らかにする。

2. 試験場所及び調査方法

1) 試験場所

松山市上難波（農林水産研究所内）

2) 調査方法

i) 供試剤

バポナ殺虫プレート ハーフタイプ（成分名 ジクロロボス）の開封後製品。開封後は、予察灯（池田理化、MT-7）の筐体内で一定期間日数経過（表 1）させたものを供試した。

表 1 設置日における供試剤の開封後日数

開封日	設置日		
	8月8日	8月12日	9月5日
4月1日	129	133	157
5月30日	70	74	98
8月8日	0	4	28

ii) 野外での殺虫効果試験

漏斗、光源を付けた 5 リットルのガラス容器(簡易予察灯)内に供試剤を吊るし、3m間隔で設置した。光源には 60W 白熱球を使用し、18 時～翌 6 時まで点灯した。2013 年 8 月 8 日、8 月 12 日、9 月 5 日の夕方に容器を設置し、翌朝回収して捕獲虫の生死苦悶を判別した。チョウ目はコナガ、フタオビコヤガ、コブノメイガ、イネヨトウ、ニカメイガとその他チョウ目とし、その他チョウ目では生死苦悶と鱗粉の脱落程度を調査した。ガラス容器の周囲は、直射日光を避けるため紙箱で覆った。

3. 結果の概要

1) 開封約 4 ヶ月後でも十分な殺虫効果(苦悶含む)が継続していた（表 2、3）。

2) 個体数は少ないものの、開封約 5 ヶ月後でも生存虫はいなかった(表 4)。

3) その他チョウ目の鱗粉の脱落は、開封約 4 ヶ月後では開封直後や開封約 2 ヶ月後より多くなることがあったが、大差はないと考えられた（表 2、3）。

以上の結果から、バポナ殺虫プレート（ハーフタイプ）の有効期限は製品には 2～3 ヶ月と記載されているものの、予察灯で使用する場合 4 ヶ月は使用できるものと考えられる。このため、予察灯の調査期間中（4～10 月）における設置・交換は、4 月と 8 月（月当初）でよいものと判断した。

表2 簡易予察灯の誘殺状況（8月8日設置）

設置日	8月8日											
	8月8日			5月30日			4月1日			無処理		
開封日	0			70			129			-		
開封後日数	生存	苦悶	死亡	生存	苦悶	死亡	生存	苦悶	死亡	生存	苦悶	死亡
コガネムシ類	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
カメムシ類	0	0	27	0	2	28	0	0	24	5	5	7
ウンカ・ヨコバイ類 注1)	0	0	10	0	0	9	0	0	12	0	0	1
チョウ目 注2)	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0
その他チョウ目 注3)	0	6	53	0	3	38	0	5	46	0	9	11
鱗粉脱落	少		多	少		多	少		多	少		多
個体数	50		9	26		15	22		29	0		20
(%)	(84.7)		(15.3)	(63.4)		(36.6)	(43.1)		(56.9)	(0.0)		(100)

表3 簡易予察灯の誘殺状況（8月12日設置）

設置日	8月12日											
	8月8日			5月30日			4月1日			無処理		
開封日	4			74			133			-		
開封後日数	生存	苦悶	死亡	生存	苦悶	死亡	生存	苦悶	死亡	生存	苦悶	死亡
コガネムシ類	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
カメムシ類	0	3	20	0	3	13	0	1	12	1	0	0
ウンカ・ヨコバイ類 注1)	0	0	1	0	0	1	0	0	4	0	0	0
チョウ目 注2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他チョウ目 注3)	0	9	14	0	3	12	0	8	13	6	4	8
鱗粉脱落	少		多	少		多	少		多	少		多
個体数	16		7	10		5	15		6	9		9
(%)	(69.6)		(30.4)	(66.7)		(33.3)	(71.4)		(28.6)	(50.0)		(50.0)

表4 簡易予察灯の誘殺状況（9月5日設置）

設置日	9月5日											
	8月8日			5月30日			4月1日			無処理		
開封日	28			98			157			-		
開封後日数	生存	苦悶	死亡	生存	苦悶	死亡	生存	苦悶	死亡	生存	苦悶	死亡
コガネムシ類	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0
カメムシ類	0	10	18	0	15	9	0	1	3	12	0	0
ウンカ・ヨコバイ類 注1)	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チョウ目 注2)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
その他チョウ目 注3)	0	1	22	0	0	11	0	0	3	3	0	2
鱗粉脱落	少		多	少		多	少		多	少		多
個体数	14		9	2		9	2		1	1		4
(%)	(60.9)		(39.1)	(18.2)		(81.8)	(66.7)		(33.3)	(20.0)		(80.0)

注1) ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ、トビイロウンカ

注2) コナガ、フタオビコヤガ、コブノメイガ、イネヨトウ、ニカメイガ

注3) 種別調査以外のチョウ目